

IBM ThinkPad 560 ユーザーズ・ガイド補足資料

IBM ThinkPad 560 ユーザーズ・ガイド補足資料

商標

下記の用語は、米国 IBM およびその他の国における IBM 社の商標です。

IBM	OS/2
MMPM/2	Presentation Manager
Mwave	ThinkPad
Multimedia Presentation Manager/2	WIN-OS/2

Windows は、Microsoft 社の商標です。

アスタリスク 2 つ (**) 付けて表示している会社名、製品名、およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。

第 1 版 (1996 年 5 月)

本書において、日本では発表されていない IBM 製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原典:	P/N 64H1099 Additional Information for the IBM ThinkPad 560 Computer User's Guide
発行:	日本アイ・ビー・エム株式会社
担当:	ナショナル・ランゲージ・サポート

Copyright International Business Machines Corporation 1996. All rights reserved.

Translation: Copyright IBM Japan 1996.

IBM ThinkPad 560 に関する補足資料

このたびは **IBM ThinkPad 560** をお買い上げいただき、ありがとうございます。
す。

本書は、IBM ThinkPad 560 に添付されている *ユーザーズ・ガイド* に記載されていない補足情報について説明します。これ以降、IBM ThinkPad 560 のことを *560* または *ThinkPad* と表記します。

『**OS/2 Warp** を導入する前に』

(1 ページ) では、OS/2 Warp を導入する前に必要となる重要な情報を説明します。

『**OS/2 Warp** に関する考慮事項』

(3 ページ) では、OS/2 Warp の導入時および使用時の考慮事項を説明します。

『**外付けディスプレイを使用する場合**』

(5 ページ) では、外付けディスプレイを使用する場合について説明します。

『**ユーザーズ・ガイドへの他の補足情報**』

(6 ページ) では、*ユーザーズ・ガイド* に記載されていない補足情報を説明します。

OS/2 Warp を導入する前に

重要

OS/2 Warp を ThinkPad に導入する前に、必ず次の手順を実行してください。次の手順を実行しないと、OS/2 の導入が途中で止まり、導入作業を完了することができません。

OS/2 Warp 導入ディスクセット 1 を使用して OS/2 の導入作業を実行中に、OS/2 のロゴ画面が表示され、導入が止まり、その先へ進まなくなります。

これは、システムで入出力アドレス 330h を予約しており、導入ディスクセット 1 に含まれる Sony™ CD-ROM 用デバイス・ドライバーが、以下の CD-ROM ドライブが ThinkPad に接続されているかどうかを検知するために入出力アドレス 330h にアクセスすることが原因です。

Sony CDU-31A、CDU-7305
Sony CDU-33A、CDU-7405

導入が停止するのを回避するために、環境に応じて次のどちらかの手順を選択してください。

上記の Sony CD-ROM ドライブを使用している場合は、OS/2 Warp ユーザーズ・ガイドの“特別なハードウェアについて”の章を参照し、**SONY31A.ADD** デバイス・ドライバーのパラメーター情報を確認してください。

次に、AudioDrive 機能を使用不可状態にするか、または、AudioDrive 機能のシステム資源の値を、他の資源と競合しないように変更する必要があります。

そのためには、ThinkPad 機能設定プログラムを始動し、Sony CD-ROM の資源情報を登録します。そして、ThinkPad 機能設定プログラムで AudioDrive 機能に適切な資源値を設定してください。

OS/2 Warp を導入する前に

前述の Sony CD-ROM ドライブを使用していない場合は、次の手順を実行してください。

- 1 OS/2 Warp 導入ディスク 1 のバックアップ・ディスクを作成する。
- 2 バックアップ・ディスクの CONFIG.SYS ファイルをエディターでオープンし、次の行をコメントにする。

```
BASEDEV=SONY31A.ADD
```

```
rem BASEDEV=SONY31A.ADD
```

- 3 バックアップ・ディスクから **SONY31A.ADD** ファイルを削除する。
- 4 作成したバックアップ・ディスクを使用して、OS/2 Warp を導入する。

OS/2 Warp に関する考慮事項

以下の情報は、OS/2 Warp を導入、使用する場合に重要な情報です。

OS/2 Warp を導入するときは、*ユーザーズ・ガイド* の記述に従って、ThinkPad ディスプレイ・ドライバー (Cyber 等) も導入してください。導入されていないと、OS/2 全画面表示ではフォントが壊れて表示されることがあります。

OS/2 Warp 導入後、OS/2 MMPM/2(Multimedia Presentation Manager/2) を次の手順で更新してください。さもないと、カラー数 256 色の設定では、MMPM/2 の デジタル・ビデオ で AVI ファイルを再生することができません。

MMPM/2 の更新

- 1 MPEG 機能ディスク (OS/2 用) を用意する。
ThinkPad が OS/2 導入済みモデルの場合は、**Diskette Factory** プログラムでディスクを作成する。
- 2 MPEG 機能ディスク (OS/2 用) をディスク・ドライブに挿入する。
- 3 OS/2 コマンド・プロンプトで **MINSTALL** と入力して Enter キーを押す。
ポップアップ画面の導入元ドライブを C: から **A:** に変更する。
- 4 機能画面で、**OS/2 MPEG Subsystem Fixes** だけを選択する。他の項目が選択されていないことを確認する。
- 5 画面の指示に従う。
- 6 ThinkPad を再始動し、新しい設定を有効にする。

MMPM/2 を更新したことで、AVI ファイルの再生が可能になります。

注: ThinkPad 560 は、MPEG での再生はできません。

外付けディスプレイを接続し、OS/2 の ThinkPad 機能設定プログラムでリフレッシュ・レートの値を変更した場合は、新しい設定を有効にするために、ThinkPad を再始動する必要があります。

WIN-OS/2 全画面表示で動画を再生している時は、OS/2 プレゼンテーション・マネージャーセッションを切り替え *ない* ください。

プレゼンテーション・マネージャーへ切り替える場合は、動画の再生を停止または休止した後、切り替えてください。

WIN-OS/2 全画面表示を使用する場合は、画面解像度を OS/2 プレゼンテーション・マネージャーの解像度よりも高く設定 *しない* ください。

ブート・マネージャー・メニューの文字が文字化けする場合があります。

外付けディスプレイを使用する場合

ThinkPad に外付けディスプレイを接続し、以下の設定にしている場合は、表示画面が乱れたり、設定よりも低い解像度になることがあります。

640 x 480 (解像度) と 16,777,216 色 (カラー数)
800 x 600 と 65,536 色
1024 x 768 と 256 色

これを修正するには、ThinkPad 機能設定プログラムで次の設定値を変更してください。

- 1** リフレッシュ・レートを変更する。そして、画面が正しく表示されているかどうか確認する。問題が解決していなければ、ステップ 2 へ進む。
- 2** カラー数を変更する。ThinkPad を再起動した後、画面が正しく表示されているかどうか確認する。問題が解決していなければ、ステップ 3 へ進む。
- 3** 画面解像度を変更する。ThinkPad を再起動した後、画面が正しく表示されているかどうか確認する。

ユーザース・ガイドへの他の補足情報

ThinkPad に関する訂正情報や現在の情報について説明します。次の点が *ユーザース・ガイド* から変更になりました。

次の場合、サスペンド状態に入らないでください。

- オーディオ機能を使用する場合、またはビデオを再生する場合
- DOS のゲームを行う場合

赤外線ポートの IRQ 値は、以下の通りです。

4 (初期値)、3、または未使用

DSTN モデルの ThinkPad で DOS テキスト・モードを使用しているときは、画面拡大機能は *常に* 使用可能状態です。ThinkPad 機能設定プログラムや、PS2 コマンドで使用不可にすることはできません。

注: DOS グラフィック・モードでは、画面拡大機能を使用可にも、使用不可にも設定できます。

部品番号: 74H1080

Printed in Japan



74H1 8